



園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

〒622京都府船井郡園部町上木崎

No 12

0771(62)3249

園部共同作業所に期待する
和知町社会福祉協議会

「福祉元年」といわれる平成五年を迎えました。

これは、在宅福祉及び施設福祉の充実をはかることを目的とした「高齢者保健福祉推進・〇力年戦略……ゴールドプラン」、それを受けての「福祉関係八法の改正」という大きな国の施策の中で、平成五年度がその節目になるといわれているからです。

具体的には、私たちのくらしに最も身近な市町村行政の役割が明確にされ、在宅福祉サービスの充実と責任が市町村にまかされることになり、くらしに結びついた福祉を進めて行かなければならなくなつたということだろうと思つて

います。
このような中であつて、和知町社会福祉協議会は、福祉の主体は町民、という基本的な考えのもと、福祉制度と町民をつなぐパイプ役（福祉のよびかけ人）として、また、町民のみなさんとともになつて新しい福祉制度を作りだしていく推進役を果たして行かなければと考へています。

しかし、「福祉元年」を考へる時に、複雑な情報化社会、人間関係の中で、ともすれば機械的に処理されていくような今日、心に病を持つ人達が増えてきています。

このことから、園部共同作業所の果たす役割は重要な位置を持つのではないかと思ふのです。なぜなら、園部共同作業所は、仲間が住む地域の中で生きていくことを基本にすえて、心に病を持つ人達の社会復帰に向けての訓練の場として、また、仲間同士の支えあいの場として運営されてきたからなのです。

どうしても高齢者福祉に重点がおかれてしまいがちの中で、地域の中で、人と人とのふれあいと支えあいを基本に、杉山所長さんを中心にして、なかなか、福祉問題として表れにくい心の病の問題を、みんなの問題としてより明らかにしていく活動を今後も、推進されることを期待しています。

寄贈品・寄付金
(二月一日ー四月三〇日)

井上ひとみ 鍋
瀬尾 博 花見だんこ、
ジュース

明田履物店 靴、
コーヒーセット

片山庄一 菓子

寄付金

京都府共同募金会
(食器棚代金)

中川昭子
木下悠紀子
城島幹夫



「全国野鳥保護のつどい」の
記念品
当作業所の「箸置」の注文

京都府知事の新たな方針として、各府市町村が主催する、イベント行事に出される記念品を、各障害者福祉施設、共同作業所の自主製品を利用する事が決まりました。早速、各福祉施設からは、発注があつた、などと聞いていました。我が作業所はいつぞやと思つておりましたところ、ついに当作業所の自主製品である「箸置」にも声がかかりました。五月九日、丹波自然運動公園で開かれる第四七回「全国野鳥保護のつどい」の記念品に指定されました。これまでになかつた多量の注文を受けて、作業所は大忙し、そこへ続けて京都精神障害者家族会連合会より「京家連結成三〇周年記念」式典出席者への記念品にと製造依頼が舞い込んできました。どうして同じ時期に「ダブル」で……うれしい悲鳴。「箸置」は一つ一つがまったくの手作り、いつもの生産ベースではとても数がこなせません。どうしたものと頭を痛めていると、それならお手伝いいたしましょうと、ボランティアの方々。そこで、特に、難しい「蝶結び」「箱の包装」をおもにお願いしました。そして無事、品物を納品する事が出来ました。有り難うございました。この事で特にうれしいのは、通所者Yさんの作業への励み、意欲がでてきた事です。「箸置」を作

る行程は①芯切り②紙の裁断③糊付け④蝶結び⑤防水加工⑥箱詰め、ですが、彼はいろいろな手がけず、⑤の防水加工に専念できました。おかげで、彼はドンドン技術が上達し(箸置の善し悪しは⑤の工程で決まるのです)すばらしく美しい仕上がりに出来るようになり、職員も驚いています。不況で下請け仕事も少なくなり、毎日の作業を悩む時期にタイミング良く、自主製品の発注にたいへん感謝しております。

所長 杉山俊夫

※箸置ボランティアの方々

- 中川 和子 様
 - 中川 みち 様
 - 塩見恵美子 様
 - 吉田 千子 様
 - 湯浅 順子 様
 - 吉田美千子 様
 - 中沢 麗子 様
 - 中川 のぶ 様
 - 吉田こふみ 様
 - 吉田 冬子 様
- 有り難うございました。心より
お礼申し上げます。

レクリエーション・行事

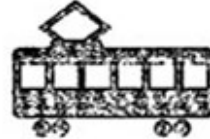
- 三月 八日 台所改修祝い
- 三月 八日 カレーライス昼食会
- 三月 二五日 白浜一泊旅行
- 四月 七日 花見(緑山城社)

プラスαの味を

精神障害者のリハビリテーションにおいて、共同作業所のはたしている役割はあれこれ言うまでもなく大きいものがある。回復途上にある人は共同作業所に通所することとて生活のリズムを整えるし人との関わり方を学び、仕事・作業に集中する事を覚え、レクレーションやスポーツでさわやかさを感じる。療養生活が長いだけに自分にあつた通所施設があることは、その人の生活そのものを支えることにもなる。

回復途上にある人は往々にして安定と不安定を合わせ持っている。健康な人よりも動揺しやすいので、常に身近に相談援助できる人が必要である。そういう意味では保健所と違つた問題解決の仕方も可能である。

しかし、共同作業所に慣れてくるといわゆる不足やら欲やらが頭をもたげてくる。これは決して悪いことばかりでなく、自分を向上させる上では大切なものだと思う。もっと高い賃金がほしい、というのがその最たるものだ。回復途上の人は動揺しやすいと書いたが、そんな中でも長年の通所で安定を得た人はやはりさらに上を目指してくる。それが自分をもう一段アップさせる良いチャンスです。どんなに障害が重くても働ける場というベースの部分には保つた上



で、今後関係者で協議しながら通所者の生活向上をどのように図っていくか。さらに上を目指そうとして通所者の意欲を生かしていく方法を、共に探つて行きたいと思う。

園部保健所 精神衛生相談員

杉原 努

南紀白浜

まず園部駅から出発し、京都まで行きました。生まれて始めての新幹線に乗り換えて新大阪までの乗りごちがとても良かったです。特急くろしおに乗り換え、白浜に着きました。エネルギーランドへつれて行って下さいました。色々な物を見せて頂きとても嬉しかったです。

そしてバスに乗って天山閣に着きました。温泉に入りましてから宴会に行き食事の色々なごちそうを頂き本当においしかったです。そして紀の国玉三郎さんの芸がとても面白かったです。またフィリピントロピカルショーも良かったです。

一六日はお天気になりましたが風があり、少し寒かったのが残念でした。アドベンチャーワールドの色々な動物を見せて頂きまして、びっくりしました。最後のオルカショーも良かったです。皆嬉しく楽しかったです。どうも有り難うございました。(TN)

もう一度したいソフトボール

あれからだいぶ月日がたちましたが、去年の五月二〇日と一〇月二二日にグループワークで、かしの木台グラウンドでソフトボール大会をした。五月はママさんソフトチームとだけで試合をしてきましたが、一〇月の試合では、花の木学園のチームも加えて、三つ巴の試合だった。僕はソフトは、小学校から大の苦手だったので、最初からソフトボールの試合の参加は断ろうと思ったが、杉山所長からは是非とも出場してくれとの希望だったので、頼まれれば断れない性格なので仕方なくOKの返事をしてしまった！五月二〇日の日している所ではなかった。かしの木台グラウンドに着いてみるとママさんチームが早速く守備練習をしているのを見ていて、これでもう勝負は決まっていると思った。それもそのはずママさんチームの方々は週に二、三回練習をしていさるので、我々のチームはろくに練習などしていないで、最初から負けも同然だった。だがそれにかかわらず我々もてる力の全てを出し合い打つ時は打ち、守る時は守つたのだ！特に筆記したいことはママさんチームのピッチャーである。球の速度はとても早くその上、ボールと思つた球が急に上へ上がりストライクになり三振

になつてしまふことが多かった(一恥)。我々は散々な目にあつたが試合は終わった。結果は当然のごとくママさんチームが大差で勝つた。僕らのチームはまだまだ若い？人達なのだが体力の差というものを痛感させられた(情けね)。だがみんなが手を取り合

い、たとえ負け戦でもきつとがんばればがんばれるそう思った。試合の終わった後、帰りの車の中で僕はこれまでにない快感が漂っていた(一〇月のソフトボールのことは省略し忘れてしまったのだ)。僕はソフトボールというチームプレイでするスポーツを通して感じたことは、この世は全て自分一人で動いているものではないという事、人と人とのふれ合いが、いかに大切であるという事などを考えさせられた(他にもっとあります)。だからもう一度したいソフトボール。(AS)



編集後記

忙しかった年度末年度始め、すみません。さあ今年度は栄養士さんの指導のもと「調理実習」、おっと、難しいことを言うと思われまます。ようするに、みんなで料理したもの食べる昼食会です。勿論サーピスですからドシドシ参加して下さい。

